
睡蓮の花は儚く美しく・・・

ユキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

睡蓮の花は儚く美しく・・・

【Nコード】

N6650P

【作者名】

ユキ

【あらすじ】

高校生に入ったばかりの、清水 啓斗。

ある日啓斗は家のカギを忘れて裏庭から家に入ろうとしていた
すると “ ザバッ・・・ ” 池から水の音が聞こえた、池のほうを
見ると

そこには・・・?!

花を擬人化したファンタスティッククラブコメディー

第一話！！

睡蓮現る

俺は見えてしまった・・・今までにみたコトのない光景を・・・

ドサッ

あまりにすごい光景を見てしまった俺は、地面にカバンを落とした・・・。

俺は、清水 啓斗。高校に入ったばかりで今日は始業式だった・・・。

家に着いたが家にカギを忘れてしまった俺は裏庭から入ろうとした・・・そのときだった・・・

ザバッ・・・

水の音がした

俺の家の庭には自慢の池がある・・・その池には綺麗な睡蓮が咲いている・・・

その睡蓮が・・・

「誰だよ・・・」

その睡蓮が・・・

「睡蓮・・・」

女になった・・・トコロを見てしまった・・・

その睡蓮と名乗る女は池から出てきて水びたしだった・・・

「とりあえず、中入って風呂に入れよ。な？」

「ん・・・」

睡蓮はコクリと返事をした、なかなか可愛い人だ・・・

睡蓮は池から出てきたにもかかわらず綺麗な着物を着ていた・・・。

「――・・・分かったか？」

「うん・・・」

本当に分かってるのか・・・？

俺は、風呂の説明を10分かけて睡蓮に教えた。

このことを両親になんて話そうか？

幸い今日明日明後日と両親は仕事で帰ってこない・・・

この三日間の間でどこかに行ってもらうか・・・理沙に相談しよう・・・

理沙とは、俺の妹で中学二年になった。

理沙も今日は早いはず・・・。

「ただいまー」

帰ってきた！！

睡蓮が風呂に入ってる間に・・・

「啓斗・・・これでいいの・・・？」

「え・・・ってうおい！！服着たまま入ったのかよ！！服脱いでから入らなきゃいけないんだよ！！」

しまった・・・服のこと言うの忘れてた・・・なんてことだ・・・こんなとこ理沙に見られたら・・・

「啓斗？いるの？いるんだったら、カギ開けておいてよね。けい・・・何してるの？啓斗」

「これには・・・ワケがあるんだ・・・話を・・・」

「お邪魔してごめんなさい、彼女とこゆつくり」

「ちがつ・・・」

だあああああー！！！！

違うって！！何言ってるんだよ！！彼女？！ふっざけんな！！こんなんが彼女だったら俺の名がすたる！！

こんなチンチクリン・・・・・・じゃないか・・・／／／／

チンチクリンじゃない・・・・・・着物を脱がせると分かる・・・腕も足も・・・ほどよく細い・・・

ウエストも細過ぎない・・・胸もでかすぎず・・・いや少し大きい・・・といったところか・・・

つてええ！！何考えてるんだ！！俺は！！

「啓斗？どうかした？私の胸に何かついてるか？・・・ん？」

「うわ！持ち上げるな！！／＼／＼早くも一回入れ！！」

何やってるんだ・・・てか・・・何持ち上げてんだよ！！／＼／＼恥ずかしくねーのか？アイツは・・・まあ・・・いいや・・・とにかく理沙に相談・・・

「終わった？」

「っうわ！！何が！？」

「ラブラブタイム。」

「ラブラブじゃねーし！！」

「ふー・・・ん・・・」

何言っただ理沙も・・・頭おかしいんじゃないのか？

「あつまて！！相談が！！」

「ん？」

――数分後――

「はあ！？あの人が庭の睡蓮だつて言うの！？」

「そうなんだよ！！」

信じてくれるか分からないけど、相談はしておいたほうがいいよな？

まあコイツのことだから信じないと思うけど・・・

「わかった、あの人ココにいてもいいように私からお母さん達に交渉してみる。」

「信じるのか？」

「急に啓斗がそんなこと言うなんて嘘だと思えないし・・・。それにおかしいと思ったのよあんなキレイな人が啓斗の彼女だなんて。」
信じた・・・信じてくれた・・・すげー・・・なんか理沙変わったなあ・・・

最後の一言は余計だけど・・・

「ありがとう理沙」

「別に、あんたのためじゃないよ？アレがウチの睡蓮なんですよ？
なにか恩返ししにきたかもしれないじゃん！！」

それが本音か・・・

「それに、お母さん達絶対オツケーしてくれると思うよそうゆう話

好きじゃん?」

「そうだな・・・。」

「ちよつと待ってて。」

「おう・・・。」

今から連絡するのか・・・なんか俺が緊張してきた・・・もし駄目だつて言われたらどうする?

いやいや・・・そんなこと考えない・・・絶対大丈夫・・・大丈夫だ・・・

「啓斗?」

「睡蓮あがつたか・・・つてうおい!!裸じゃねえーか!!!!服着ろよ!!」

「服きていいのか?」

「いいに決まってるだろ!!ここで駄目っていったらほんとに変態じゃねーか!!」

「わかった、着替えるよ」

パチンツ!!

指鳴らした・・・すげえ・・・俺それできないし・・・やっぱりかつこいいよな・・・あこがれる・・・

「着替えたぞ・・・」

「はや!!」

「駄目なのか?」

「いやいいんだ・・・」

「啓斗!!!!」

「理沙、どうだった?」

「・・・」

やっぱりだめだったか・・・これからコイツどうすれば・・・

「オツケーだつて!!!」
「ハハハ」

え・・・

マジ・・・?

こうしてこれから想像もできない生活が始まった・・・。

睡蓮学校に行く

睡蓮が人間になってから二日・・・
そろそろ、両親が帰ってくる頃だ・・・

はぁ・・・やっぱりなれないな・・・睡蓮と一緒に暮らすのは・・・
夜な夜な俺のベッドにもぐりこんできたり・・・

俺が風呂入ってるときにいきなり睡蓮が入ってきたり・・・
まだ二日しかたっていないがもう一ヶ月も過ぎたように毎日が遅く感じる・・・

「啓斗？何処行くの？」

「学校だよ！！」

学校に通って二日、さっそく友達ができた。

自分で言うのもなんだけど俺は友達を作るのが得意だ。

だから、高校に入ってメアドを交換した人は十を超えている！

これは、自慢だ！

「啓斗」

「なんだよ」

「私も学校行きたい」

「ムリだよ、いろいろ手続きとかあんだから」

「そうなんだ・・・」

朝は、そう話してた・・・

だが、ホームルームの時間・・・

「転校生を紹介します、清水 睡蓮さんです。」

「よろしく願います」

睡蓮が学校にいた・・・

睡蓮が挨拶をしたとたんクラスの男子がざわつきだした・・・

これは、マンガとかでよくある光景・・・

男子がざわつき女子がイラつく・・・だが・・・ココは違う・・・

転校生が来たら、男女共に・・・

「きたきたきたああああ！！！！しかも女子だああああ！！」

「きやああああ！！可愛い可愛い！！」

このざわつき・・・いや・・・ざわつきと言うより・・・ライブ会場みたいなの？

そんな感じだな・・・

うるさくて仕方がない・・・

睡蓮の頭には、はてなマークが見えたような気がした・・・。

一日の学校生活が、終わりを迎えた。

俺達は家にかえった。

「睡蓮！！！！どうやってあの学校に転校してきたんだ！！」

「ん？母上がいいよって言うてくれたから行ったんだ駄目だったか？」

「いや・・・駄目じゃないけど・・・へ？母？」

「うんそうだけど・・・。」

「母さん帰ってきたのか！？」

そんな・・・帰るのは、明日か明後日のはずだったのに・・・

「な～に～よお～そんながっかりしちゃって」

「母さん！！」

俺の母さん、清水 亜紀。名前は若いけど、本当の年齢は・・・

「啓斗！！」

「はい！！」

「・・・・・・・・ただいま」

「お・・・おかえり・・・」

一瞬殺気が・・・気のせいかな・・・

「それより・・・これが私が一生懸命育てた睡蓮！？人間になるとほんとに綺麗ねえ・・・」

「ありがとう、母上」

「いいのよお～もう！！ほんとに可愛い娘ができたこと！！」

「はいはい・・・」

「啓斗お～・・・ちゃっかり襲っちゃだめよお～」

「襲わねーよ！！！！」

こうして両親も帰ってきて少し安心したけど・・・
次の日思ってもいなかったことが！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6650p/>

睡蓮の花は儚く美しく・・・

2010年12月31日06時40分発行